

拒絶理由通知書



特許出願の番号	特願2001-108550
起案日	平成15年 8月29日
特許庁審査官	岸 智章 9327 3X00
特許出願人代理人	菅原 正倫 様
適用条文	第29条第2項

この出願は、次の理由によって拒絶をすべきものである。これについて意見があれば、この通知書の発送の日から60日以内に意見書を提出して下さい。

理 由

この出願の下記の請求項に係る発明は、その出願前日本国内又は外国において頒布された下記 of 刊行物に記載された発明に基いて、その出願前にその発明の属する技術の分野における通常の知識を有する者が容易に発明をすることができたものであるから、特許法第29条第2項の規定により特許を受けることができない。

記 (引用文献等については引用文献等一覧参照)

<請求項1、3、4、6、7及び8について>

刊行物1：特に、表5のNo1の記載を参照。

スパークプラグの技術分野において、釉薬層がSi成分をSiO₂に酸化物換算した値にて35～55mol%含有することは、例示するまでもなく従来周知の技術である。

<請求項2について>

刊行物1：特に、表5のNo1の記載、及び表3の107、109又は119の記載を参照。

<請求項5について>

刊行物1：特に、表5のNo1の記載、及び表5のNo2、4、6、7、13及び21の記載を参照。

引 用 文 献 等 一 覧

1. 特開2000-48931号公報

先行技術文献調査結果の記録

・調査した分野 IPC第7版 H01T 13/00 — 21/06
 C03C 8/00 — 8/24

・先行技術文献 (消) 米国特許第5677250号明細書
 (消) 特開平11-43351号公報
 (消) 特開平11-106234号公報
 特開2000-313681号公報

この先行技術文献調査結果の記録は、拒絶理由を構成するものではない。

<補正等の示唆>

(1) 明細書を補正した場合は、補正により記載を変更した個所に下線を引くこと。

(2) 補正の際には、補正は、この出願の出願当初の明細書又は図面に記載した事項のほか、出願当初の明細書又は図面に記載した事項から当業者が直接的かつ一義的に導き出すことができる事項に限られる点に注意し、意見書で、各補正事項について補正が適法なものである理由を、根拠となる出願当初の明細書の記載箇所を明確に示したうえで主張されたい。

なお、上記の補正等の示唆は法律的效果を生じさせるものではなく、拒絶理由を解消するための一案である。明細書及び図面をどのように補正するかは出願人が決定すべきものである。

この拒絶理由通知の内容に関するお問い合わせがございましたら下記までご連絡下さい。

特許庁 特許審査第二部 生活機器(照明) 審査官 岸 智章

TEL. 03(3581)1101 (内線3372) FAX 03(3501)0672
